

令和4年度 ACTR

分類 番号	A5	取組 名称	由良川がつなぐ海と森の京都—宮津市由良地区と綾部市上林地区の文化資源の発掘と活用—
研究代表者所属・職名：		文学部・教授	氏名： 横内 裕人
研究担当者： 京都府立大学（岸泰子、藤本仁文） 外部分担者・協力者（井上一稔氏、大関美沙氏、嶋谷知彦氏）			
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名） 宮津市（包括連携協定）、綾部市資料館、京都府綾部市教育委員会、奥上林地区自治連合会			
<b>【研究活動の要約】</b>			
<p>綾部では、君尾山光明寺仏像・位牌、石造物、芳名標を調査し、その一部に上林中学校生徒が参加しました。またガイド養成トレッキングを開催して君尾山の自然と文化を地元の方々に伝えました。『君尾山の文化財シリーズ ハンドブック君尾山光明寺』建築篇、古文書篇 2冊を刊行し、ACTRの成果を公開しました。</p> <p>由良では、由良神社が所蔵する文書の調査を実施しました。今回は、軍艦由良や神社の造営に関する文書を新たに見つけ出すことができました。現在、由良神社が所蔵する文書や由良地区に所蔵される文書の目録を作成中です。</p>			
<b>【研究活動の成果】</b>			
<p>（最も端的な成果について、分かりやすく御記入ください。）</p> <p>光明寺での本堂・大師堂保管の位牌調査では、江戸時代からの住職の位牌や近代の本堂・二王門修理に伴う逆修位牌などが確認されました。また仏像調査では、大師堂の聖徳太子像・理源大師像・地蔵菩薩像から江戸時代の製作銘が発見され、作者も判明しました。また弘法大師像は室町時代に遡る制作であることがわかりました。本堂の二十八部衆・風神・雷神は尊像名・寄進者名が確認でき、文久三年（1863）の造立であることが判明しました。本堂および大師堂の外壁に打ち付けられた芳名標の悉皆調査を行い、近代の修理に協力した人名を記録しました。</p> <p>由良では、由良神社が所蔵する文書を調査しました。今回、神社内から新たに軍艦由良と由良神社・地区との関係を示す文書、近代になって由良神社社殿を造営・再建する際の文書などを発見し、目録の作成、写真撮影などを実施しました。現在は、この由良神社所蔵文書やこれまでの活動で見いだした地区の文書の報告書（目録）を作成しています。</p>			
<b>【研究成果の還元】</b>			
<p>（開催した発表会・成果報告会等の開催日、場所、参加者 等を御記入ください）</p> <p>R4.9.28 君尾山ガイド養成トレッキング参加者 32名 『君尾山の文化財シリーズ ハンドブック君尾山光明寺』建築篇、古文書篇 2冊を刊行 ※奥上林公民館で開催予定だった「奥上林公民館大会・アクター成果報告会」はコロナのため中止</p>			
<b>【お問い合わせ先】</b>			
<p>文学部 横内研究室 教授 横内 裕人 Tel: 075-703-5256 E-mail: yokouchi@kpu.ac.jp</p>			

参考（イメージ図、活動写真等）

君尾山光明寺本堂での芳名標調査（8/29、上林中学校生徒も参加）



君尾山ガイド養成トレッキング（9/28）

